



ふ れ あ い

市長室



南あわじ市長 守本 憲弘

自粛・縮小から日常の回復へ

今年、春先から新型コロナウイルス感染症拡大に伴う国の緊急事態宣言が発せられる中、本市においては特別定額給付金の給付をはじめ、感染症対策事業に危機感とスピード感をもって対応してきました。自粛ムードの中、イベントなどは中止や縮小を余儀なくされた部分もありますが、緊急事態宣言の解除から6カ月目に入り、全国的に新規感染者数も比較的落ち着いてきた現在では、「自粛」「縮小」だけではなく、日常生活や社会経済を徐々に取り戻すことも必要です。本市においては、感染予防対策を万全にし、市の商工会や観光協会などと連携しながら「飲食宿泊キャッシュバック・キャンペーン（ジモ得）」やインターネット通販サイト「島のおすそわけ」の立ち上げ、「連合商店街プレミアム付商品券」などの事業を通じて疲弊した地域経済の活性化に取り組んでまいりました。一方、本来執行すべき市の事業も滞らせることはできません。感染症対策と平行して、平時の各種事業を適切に執行してきたところです。また、イベントなどについても、規模の縮小やオンライン会議の活用など工夫を凝らし、可能なものは開催しています。例えば、市の畜産共

進会は、和牛（黒毛和種種牛）の部が開催され、南あわじ市を会場に行われる県の共進会にも上位入賞の牛8頭が出場します。また、長寿・金婚夫婦祝福会も行われ、金婚をお迎えになったご夫婦に記念品をお渡しするとともに、101歳以上の長寿をお迎えになった方へのお祝いも述べさせていただきました。各種のイベントで、市民の皆さまの元気なお姿を拝見しますと、日常を少しずつ取り戻していることを実感します。

先日、淡路島3市長から井戸兵庫県知事に来年度予算にかかる要望を行いました。3市の共通課題として、有害鳥獣対策、県立淡路医療センターなどにおける産科医師の確保、神戸淡路鳴門自動車道の通行料金の格差解消などについて、また、本市の課題としては、総合治水対策やため池改修への支援、県立高等学校の活性化と教育環境の確保などについて、強く要望しました。

コロナ禍にある昨今においても、災害への備えを怠るわけにはいきません。11月15日（日）には、広田中学校をメイン会場とした南あわじ市総合防災訓練を予定しています。本年度は、感染予防対策を徹底したうえ、体育館での講演会は行わないなど時間を短縮して実施します。各自治会には、地域の実情に合わせた訓練の実施をお願いしていますが、自治会での実施が難しい場合は、各家庭で避難場所の確認や、机の下に入り身を守るなど災害を想定した訓練をぜひ実施してください。最後に、本年は5年に1度の国勢調査の年となっております。調査票の配布や回答にご協力いただきました市民の皆さまに厚くお礼申し上げます。

キャンパスでの対面授業を再開しました

10月2日より対面での通常授業が再開し、キャンパスには学生の声に戻り、1年生は待ちに待ったキャンパスライフが始まりました。一部の授業は対面授業とオンライン授業の併用型（ハイブリッド型授業）で実施していますが、課外のサークル活動を含め、全面的に教育研究活動を再開しています。

キャンパス内では感染予防対策として、飛沫拡散防止対策のためのアクリルパーテーション、講義室座席の仕切り板、さらに、講義室前に消毒液を設置するなど万全を期すための取り組みを行っています。

同大南あわじ志知キャンパス事務室 ☎ 42-4700

吉備国際大学からのお知らせ

再開した授業

対面授業

ハイブリッド型授業

農場でのフィールド実習

高齢者叙勲 瑞宝双光章

宮地 弘さん（八木）

38年間の長きにわたり、小中学校で教育に専念されました。

主に中学校で英語教育、同和教育、進路指導、軟式テニス部の活動に情熱を傾け、子どもと共に研究活動に励まれました。また、昭和62年に南淡町立沼島中学校、平成元年に三原中学校の校長に就任。愛情と信頼によって心のふれあう教育をめぐり、尽力されました。

受賞おめでとう

（敬称略・順不同）

全国少年補導功労者 栄誉銅賞表彰  
中嶋 良一（湊）

兵庫県少年補導功労者表彰  
藤岡 勝平（灘）

全国防犯功労者表彰 栄誉銀賞表彰  
寺岡 博（福良）

兵庫県防犯功労者表彰  
佐藤 繁俊（松帆）  
船瀬 やよい（湊）

南あわじ防犯協会表彰  
山本 圭一（松帆）  
中村 眞澄（湊）  
原田 宜彦（市）

南あわじ市民の警察官「ゆづりは賞」表彰  
田中 美典（地域課）  
名村 健宏（交通課）

交通安全功労者  
横内 一雄（福良）

兵庫県知事感謝贈呈  
田辺 博（松帆）

訂正とお詫び

広報10月号26頁に掲載しておりました「戦後の淡路島にタイムスリップ 素浄瑠璃をライブでお届け」の記事中、写真説明で出演者の栗林直輝さんの名前が間違っておりました。訂正し、お詫び申し上げます。

玉青館で一般公開が始まる4号銅鐸(右)と7号銅鐸(左)

平成27年に発見され、「世紀の大発見」と言われた松帆銅鐸。基礎的な研究が終了し、4号・7号銅鐸の2つが南あわじ市に帰ってきます。11月12日（木）から玉青館で一般公開が始まり、11月15日（日）の午前11時と午後2時から展示解説も行われます。

玉青館 ☎ 36・2314

11月12日から一般公開 松帆銅鐸が南あわじ市に帰還



名誉賞に選ばれた「つねいけ」と仲間さん（右から2人目）

畜産共進会が開催 牛たちの資質・美を競う

第16回南あわじ市畜産共進会（和牛の部）が9月26日、文化体育館大駐車場で開催されました。市内各地から黒毛和種85頭が出品され、資質と美を競い合ったほか、農業功労者の表彰がありました。

◆共進会入賞者一覧（敬称略）

名誉賞Ⅱ つねいけ（仲間建）

太郎・市）最優秀賞Ⅱとも（山野富靖・倭文）、かがやき2（的崎佳史・広田）、てるとし（杉浦強司・志知）、たまえ4（前川卓也・松帆）、ふみかず（沖功・松帆）、あさみ3（斉藤克己・津井）、あんこ（榎本斉・阿万）、みほ1の31（古東美佐子・神代）

◆南あわじ市農業功労者表彰（敬称略）

和牛部門Ⅱ 山際浩之（北阿万）、艾原和彦（倭文）

野菜部門Ⅱ 櫻木千也（志知）、橋本恭明（倭文）